

2017年5月15日

トヨタ車体、「人とくるまのテクノロジー展 2017」に出展

トヨタ車体株式会社（本社：愛知県刈谷市 取締役社長：増井 敬二）は、2017年5月24日（水）から26日（金）までパシフィコ横浜（神奈川県横浜市）で開催される「人とくるまのテクノロジー展 2017」（主催：公益財団法人 自動車技術会）に出展し、環境および福祉に関する製品・技術を紹介いたします。併せて、6月28日（水）から名古屋で開催される同展示会*1にも出展します。

【トヨタ車体ブースイメージ】 小間番号 274



【出展内容】

環境分野では、スギの間伐材を強化繊維として利用し、燃可塑性樹脂*2と組み合わせることで難燃性や軽量化に寄与する難燃性射出材料「TABWD/タブウッド」を展示します。今回は、これまで採用されているアルファード・ヴェルファイアのハイブリッド車のエンジン周辺のワイヤーハーネスプロテクター*3に加え、TABWDを幅広く活用いただけるようTABWDのカラーバリエーションのサンプルや成形サンプルを初展示いたします。

また、トヨタ自動車の燃料電池自動車「MIRAI」の燃料電池スタック*4の発電効率を高める3次元的な微細格子構造をもつプレス部品「3Dファインメッシュ」と、燃料電池スタック内の空気極側で空気と冷却水を分離するセパレーターNo.1も展示いたします。

福祉の分野では、2016年6月からトヨタ自動車株式会社のハイエース、レジアスエースのウェルキャブ*5に採用されている「車いすリフトユニット」を展示します。これはお客様の声を技術に反映し、開発。現在、デイケアサービスや福祉施設等で毎日の送迎にご利用いただいております。介護者が使いやすいだけでなく、車外でシートベルトを装着でき、リフトの昇降時間も短く、揺れが少ない安定した動きにより、車いすの方も快適に乗降可能です。

トヨタ車体は、これからも世界中の暮らしにもっと寄り添い“もっといいクルマづくり”によるお客様のうれしさの最大化に向け、製品の研究、開発、生産を続けてまいります。

世界の暮らしに 笑顔を届けたい



* 1 : 人とくるまのテクノロジー展 2017 名古屋 (会期 : 6 月 28 日 ~ 6 月 30 日、場所 : ポートメッセなごや)

出展小間番号 : 19

* 2 : 適当な温度に加熱すると軟化し、冷却すると固化する変形しやすい性質の樹脂

* 3 : 配線をまとめかつ保護する目的で取り付ける部品

* 4 : 水素と酸素の化学反応を利用して電気をつくる発電装置で、高分子電解質膜に触媒を塗った MEA (Membrane Electrode Assembly : 膜/電極複合体) をセパレーターではさんだセルで構成されている。数百ものセルを重ねて一つにまとめたものを、燃料電池スタックと呼ぶ

* 5 : トヨタ自動車の商標。トヨタ自動車の福祉車両の総称

【TABWD(タブウッド)】



スギ微細繊維

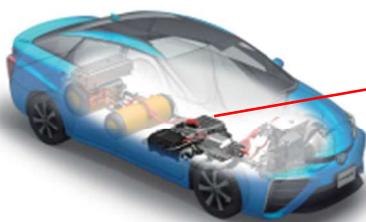


T A B W D

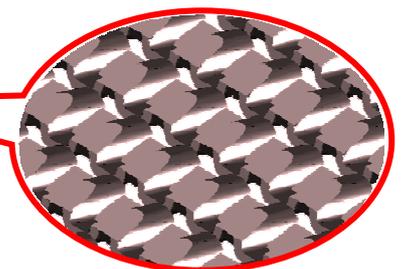


ワイヤーハーネスプロテクター

【3Dファインメッシュ流路】



燃料電池スタック
(画像提供 : トヨタ自動車株式会社)



3 D ファインメッシュ流路 (一部拡大)

【レジアスエース ウェルキャブ車椅子仕様車】 (会場では、車いすりフトユニットのみ展示)



世界のくらしに 笑顔を届けたい



トヨタ車体株式会社

〒448-8666 愛知県刈谷市一里山町金山 100 番地

TEL.0566-36-2129

www.toyota-body.co.jp